

平成28年度立正大学AP年次報告会・外部評価委員会

立正大学 地球環境科学部における  
アクティブ・ラーニングの取組み

大学教育再生加速プログラム

日時 平成29年2月23日(木)  
13:30開始場所 立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ  
A101室・キャンパス内インターネットカフェ

- 13:30~13:40 開会・趣旨説明  
 13:40~13:50 学長あいさつ  
 13:50~14:05 平成28年度AP成果概要説明  
 14:05~14:35 平成28年度学生研究プロジェクト成果発表

- 研究テーマ「埼玉県に生息するヤリタナゴの地域固有性は保たれているのか？」  
地球環境科学部／一宮大輝・永瀬健太・泉 北斗・松本 響・鈴木匠汰
- 研究テーマ「観光資源に対する地元住民と観光客との評価の差異 - 山形県を事例として -」  
地球環境科学部／飯山和也・長谷川樹生・鈴木しおり・齋藤朋美・松澤希望
- 研究テーマ「人が植物の分布拡大に与える影響」  
地球環境科学部／長谷川樹生・木村真夏

休憩10分

14:45~15:45 平成28年度プロジェクト成果報告（ポスターディスカッション形式）

- |   |   |
|---|---|
| 1. Aプロジェクト：概要 タブレットPCを利用した双方向教育<br>：実践事例とその課題「生物学実験 A」            | 島津 弘 教授（立正大学 地球環境科学部）<br>関根 一希 助教（立正大学 地球環境科学部）   |
| 2. Bプロジェクト：概要 予習用動画の作成と公開<br>：実践事例とその課題「基礎地図学および実習I・II」           | 白木 洋平 准教授（立正大学 地球環境科学部）<br>松尾 忠直 助教（立正大学 地球環境科学部） |
| 3. Cプロジェクト：概要 学生主体のフィールドワーク実習<br>：実践事例とその課題「小笠原諸島に於ける宝石サンゴの調査と展示」 | 北沢 俊幸 講師（立正大学 地球環境科学部）<br>岩崎 望 教授（立正大学 地球環境科学部）   |
| 4. Dプロジェクト：概要 リアル授業資料の収集と活用<br>：実践事例とその課題「生物学実験 B」                | 貝沼 恵美 准教授（立正大学 地球環境科学部）<br>関根 一希 助教（立正大学 地球環境科学部） |

休憩10分

15:55~16:50 パネルディスカッション「立正大学が目指すアクティブ・ラーニングの取組みと課題」

パネラー：外部評価委員5名・立正大学3名

- 埴 雅典 委員（山梨大学 工学部 教授）  
 三橋 浩志 委員（文部科学省初等中等教育局教科書課 教科書調査官）  
 春木 良且 委員（フェリス学院大学国際交流学部 教授）  
 野吾 教行 委員（河合塾教育イノベーション本部教育研究部）  
 真下 峯子 委員（大妻嵐山中学校・高等学校 校長）  
 永井 智 准教授（立正大学 学長補佐）  
 川野 良信 教授（立正大学 地球環境科学部 学部長）  
 小松 陽介 教授（立正大学 地球環境科学部 AP運営委員長）

16:50~16:55 閉会のあいさつ  
17:00~18:30 情報交換会（キャンパス内インターネットカフェ）

会費制 3,000円

## 申込方法

・氏名 ・所属機関 ・所属部署（役職） ・住所  
 ・E-mail ・電話番号 ・情報交換会への出席の有無

上記を明記の上、2月20日(月)までに  
 AP事務局 [rissho-ap@ris.ac.jp](mailto:rissho-ap@ris.ac.jp) にお申込み下さい。

## 交通アクセス

■熊谷駅南口からバス10分 ■森林公園駅北口バス12分

## お問い合わせ

立正大学 地球環境科学部 AP事務局  
 TEL 048-568-3009 E-mail [rissho-ap@ris.ac.jp](mailto:rissho-ap@ris.ac.jp)  
<http://www.ris.ac.jp/ap>

